

# はじめにお読みください

## 【必ずお読みください】

SOFTIMAGE|XSI Version6.01

xsi6.01

### ■ SOFTIMAGE|3D から XSI へアップグレードされる場合の注意事項

SOFTIMAGE|3D から XSI へ移行される場合、XSI への移行をスムーズに行っていただけるよう、移行期間中は SOFTIMAGE|3D はそのままご利用いただけます。（そのまま既存の flexlm ライセンスサーバーをご利用下さい）また、ライセンスアグリメントに基づき、Avid Technology 社の書面による承諾無しには、本ソフトウェアの移設、譲渡等は認められておりません。旧バージョンのソフトウェアを他のマシンで動作させたり、譲渡したりしないようご注意ください。

### ■ システム要件について

SOFTIMAGE|XSI をインストール、動作させるのに必要なシステム要件をご確認下さい。安定した動作の保証、機能の有効利用などのため、システム要件は予告無く変更になることがあります。最新のシステム要件は、Softimage 社のホームページでご確認下さい。また、推奨 OPEN GL ボード、Windows の必要なサービスパック、IRIX のパッチなどの情報も含まれておりますので、必ずご確認ください。

Softimage社システム要件ページ：[http://www.softimage.com/products/xsi/system\\_requirements/](http://www.softimage.com/products/xsi/system_requirements/)

アビッドテクノロジー株式会社サポートページ：<http://www.softimage.jp/xsi/v6/SysReqs/index.html>

※V6.01 は Windows Vista では動作保証外となりますので、ご注意ください。

### ■ XSI 最新バージョンについて

出荷時期によっては、お持ちのパッケージのインストール DVD-ROM より、新しいバージョンがリリースされることがあります。最新バージョンのダウンロード、ライセンスの条件、動作環境などの情報を下記 URL にてご確認ください。平成 19 年 5 月 10 日時点での最新バージョンは Ver6.01 です。

ダイキン工業株式会社 URL：<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/>

アビッドテクノロジー株式会社 URL：<http://www.softimage.jp/support/>

### ■ XSI v6.0(v6.01)の新機能概要について

XSI v6.0(v6.01)の新機能につきましては、下記 URL の製品紹介ページをご参照下さい。

ダイキン工業株式会社 新機能紹介ページ：<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/prd/xsi/ver/>

アビッドテクノロジー株式会社製品紹介ページ：<http://www.softimage.jp/xsi/6/index.html>

Softimage社 製品紹介ページ：<http://www.softimage.com/products/xsi/>

### ■ インストールガイドについて

SOFTIMAGE|XSI v6.01 のインストール、ライセンシングには、ダイキン工業作成の『インストールガイド』（和文）をご覧ください。同梱されているものは、Windows 用簡易版となっており、システム管理者向けに作られています。初めて XSI をインストールされる方、システムにあまり詳しくない方、IRIX 版を使用される方は、詳細版が弊社のホームページからダウンロード可能ですのでご利用下さい。また、インストールについて、何らかのトラブルに見舞われた方も詳細版に付属のトラブルシューティングをご参照下さい。

ダイキン工業株式会社 URL：[http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/xsi/v60\\_spcl/](http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/xsi/v60_spcl/)

アビッドテクノロジー株式会社 URL：<http://www.softimage.jp/support/help/xsi6install.html>

※最新の日本語版インストールガイドもこの URL からダウンロードできます。

### ■ 既知の問題点、回避方法について

SOFTIMAGE|XSI の既知の問題点、回避方法が Softimage 社ホームページに掲載されています。詳細は <http://www.softimage.com/support/xsi/> から「Known Problem & Limitation」をご参照下さい。

（裏に続きます）

## (表から続きます)

### ■ Software Protection Manager(SPM)とライセンスについて

- SPM は、従来の flexlm (SOFTIMAGE|3D, XSI v1.5 まで使用) に代わって採用されたライセンスマネージャです。Flexlm と同様、ネットワークライセンスサーバーの機能もあります。XSI v2.0 ~ v6.0 のライセンスサーバーとなるマシンには必ずこの SPM をセットアップして下さい。
- SPM と flexlm は共存できませんので、従来の flexlm をアンインストールする必要はありません (SI3D, XSI v1.0,v1.5 では従来の flexlm を使います)。
- SOFTIMAGE|3D または XSI v1.5 からバージョンアップされる場合、ライセンスサーバーが SPM に変更になったのに伴い、XSI v2.0~v6.01 では新たにライセンスの取得が必要です。同封の『インストールガイド』(和文) に従ってライセンスをご取得ください。
- ライセンスはマシン名に依存しませんので、ライセンス取得後も、マシン名は自由に変更することができます。(IRIX 版ではマシン名に依存しますので、変更できません)
- いままでシリアルドングルをご使用されていたマシンにて、USB ドングルに交換する場合には SPM ライセンスマネージャの再インストールと USB ドングルドライバのインストールが必要となります。

#### <ライセンスサーバーとして Windows XP または Linux マシンを使う場合>

- **新規に導入される方**は、USBポートにドングルを接続する必要があります。

USB ハブの使用は避けてください。マシンにある USB ポートを使用します。

その際には USB ドングル用のドライバのインストールが必要になります。  
インストールガイドに従ってインストールをお願い致します。

- **v2.0~v5.11 からv6.0,v6.01 へバージョンアップされる方**は、ドングルはv2.0~v5.11 のときのものをお使いください。v6.0 またはv6.01 からライセンスマネージャ(spm)も更新する必要がありますので、これまでのライセンスマネージャおよびドングルドライバはアンインストールしていただき、v6.0 またはv6.01 のインストーラからライセンスマネージャを再セットアップしてください。新しいライセンスマネージャから、v6.0 のライセンスがインターネットを介して取得できます。詳細は『インストールガイド』をご参照ください。

※ 従来のライセンスマネージャをアンインストールせずに、v6.0,v6.01 のライセンスマネージャをインストールすると思わぬトラブルが発生する可能性があります。必ず従来のライセンスマネージャをアンインストールしてから作業してください。

- **V6.0 からv6.01 へバージョンアップされる方**は、v6.0 のライセンスをお使いの場合は、そのままv6.01 でもお使いになれます。新たにライセンスを取得する必要はありません。

#### ● <シリアルドングルをお使いの方へ>

・マシンの裏側に9ピン→25ピン変換アダプタを接続する空間的余裕が無い、ネジ止めできず不安定になってしまうなどの場合は、シリアルケーブルを介して接続することもできます。パソコンショップ等でお買い求め下さい。

製品例：エレコム株式会社 PC99-9251、トライコーポレーション 99-07R10 など

・ノートパソコンなど、マシンにシリアルポートが無く、USB 端子しかない場合、USB→シリアルアダプタを使うことができます。パソコンショップ等でお買い求め下さい。

製品例：<http://www2.elecom.co.jp/products/UC-SGT.html>

・シリアルドングルから USB ドングルへ変更される場合には SPM ライセンスマネージャの再インストールが必要になります。インストールガイドにある新規に USB ドングル使用の場合のページをご参照ください。

#### <ライセンスサーバーとして IRIX マシンを使う場合>

- system ID(sysinfo)の情報を使いますので、ドングルは不要です。
- マシン名もライセンスに反映されますので、原則としてライセンス取得後にマシン名は変更できません。(変更する場合はライセンスを再取得する必要がありますが、時間がかかりますのでご注意ください)
- IRIX6.5.14以上が必要です。(詳細は前述のシステム要件を参照して下さい)
- インストーラ、SPM、XSI 本体とも、日本語環境には対応していません。必ず英語環境でご使用下さい。